

南都銀行グループは、「SDGsポリシー」に基づき、事業活動と地域貢献活動の両面から持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。

経営計画とSDGs

経営計画「なんとミッションと10年後に目指すゴール」は、なんとミッション「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じて持続可能な地域社会の実現を目指すものであり、SDGsのゴールと方向性は同じです。

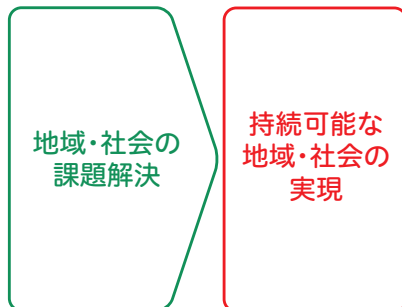


NANTO
なんとミッション

SDGsの目標 17の目標と169のターゲット



●地域の発展 ●活力創造人材の創出 ●収益性の向上

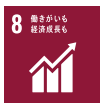


SDGsポリシー

なんとミッションである「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じ、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題を主体的に解決してまいります。

重点取組目標

南都銀行グループでは、SDGs17項目のうち、営業エリアや事業戦略に強く関連する目標と、持続可能な地域環境保全への取組目標を中心とした7つを重点取組目標として選定しています。



【働きがいも経済成長も】

地域事業化への取組、金融アクセス・サービスの拡充



【産業と技術革新の基盤をつくろう】

FinTech等を通じた顧客利便性向上



【住み続けられるまちづくりを】

地域の課題に向き合い、経済とコミュニティの活性化へ貢献



【つくる責任つかう責任】

持続可能な消費と生産



【気候変動に具体的な対策を】

低炭素社会実現



【陸の豊かさを守ろう】

持続可能な森林環境の保全



【質の高い教育をみんなに】

金融経済教育の推進・拡大

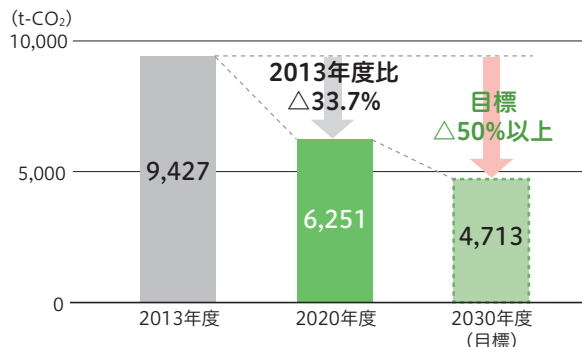
気候変動問題への対応

地球温暖化の進行に伴い、自然災害が増加・激甚化するなか、カーボンニュートラルの実現に向けた取組が世界的に加速しています。

南都銀行グループにおいても、「地域と共に発展するサステナブル経営」の実現を目指し、自らの脱炭素化に取り組むとともに、お客さまの脱炭素化の取組支援を通じて地域の発展への貢献に努めています。

また、昨年賛同表明しましたTCFD提言に沿って、気候変動問題に関する機会とリスクを特定するとともに、当行グループ自らの取組としてCO₂排出量を2030年度に2013年度比50%以上削減させる目標を設定しています。

■南都銀行のCO₂排出量および2030年度削減目標



お客さまのSDGsへの取組支援

大企業を中心に脱炭素に向けた取組が加速しており、サプライチェーンを構成する地域のお客さまの喫緊の経営課題としても顕在化しつつあります。当行グループは地域やお客さまの脱炭素化をリードするべく、お客さまの脱炭素に向けた資金ニーズへの対応やSDGs導入コンサルティングサービス、CO₂排出量可視化・削減サービスなどのソリューションを積極的に展開しています。

■〈ナント〉SDGs導入コンサルティングサービス

対象となるお客さま	法人・個人事業主のお客さま
内容	<p>①お客さまのSDGsへの取組状況を診断、SDGs行動宣言をサポート。東京海上日動火災保険株式会社より提供を受ける「診断ツール」に基づき、お客さまのSDGsへの取組状況を確認。「診断レポート」を発行するとともに「SDGs行動宣言」をサポートいたします。</p> <p>②お客さまのSDGs経営促進に向けたコンサルティングの提案。「診断レポート」や「SDGs行動宣言」に基づき、お客さまのSDGs経営の促進に向け、当行グループが提供するコンサルティングメニューをご提案いたします。</p>

■お客さまのCO₂排出量削減に向けた取組への支援

e-dash株式会社(三井物産株式会社100%子会社)と提携し、お客さまのCO₂排出量に関する現状把握から、削減目標の設定、削減に向けたアクションまで一気通貫に行います。



CO₂排出量の可視化

データ入力から算出、分析までe-dashが自動化します

CO₂排出量の報告

各種報告に必要なデータをまとめて定期的にレポート

CO₂排出量の削減

コスト削減から排出量削減まで具体的な方法をご提案